

# 国民投票法改定への合意要求

## 大島 衆院議長の発言批判

小池氏

いわき

日本共産党の小池晃書記局長は6日、福島県議選の勝利にむけたいわき市での演説で、衆院の大島理森議長が

5日、憲法改定の手続きを定める国民投票法の改定について、「この臨時国会で合意を見つけてほしい」と、今国会での成立をはかるよう呼びかけたことに

ついて、「公正中立たるべき議長として、許されない発言だ」と批判しました。小池氏は、「議長と

議長が、軍配を投げ捨て土俵になだれ込み、相撲を取り始めたら、相撲にならない」と指摘。「ふんふん」とは、議長としては言っていないことだ。安倍政権による憲法改定は許さない。このみなさんの願いを、福島県議選では日本共産党に託してほしい」とよびかけました。